

# 資料（抜粋）

・ 災害時の歯科の役割の変遷	1
・ 歯科におけるフェーズごとの対応の一覧	2
・ 口腔ケアの一覧	2
・ 歯科救護の対象	3
・ 東日本大震災後の歯科の対応	3
・ 災害と乳幼児および小児の歯に関する情報一覧	4
・ 東日本大震災後の乳幼児および小児に対する歯科保健活動(例)	5
・ 歯科の共通アセスメント	6
・ 歯科口腔アセスメントのレベル	6
・ フェーズごとのアセスメントレベル	7
・ 避難所アセスメント票（例） レベル 1	7
・ 歯科版避難所等アセスメント票 レベル 2	8
・ 歯科アセスメント票 レベル 3	8
・ 災害時歯科保健医療連絡協議会	9
・ 標準アセスメント票（レベル 2） ver2.0	10
・ アセスメントシートの使い方	11
・ アセスメント総括表	12
・ 災害時歯科保健医療支援アクションカード	13-15

# 災害時の歯科の役割の変遷

1985, 日本航空123便墜落事故

犠牲者 520名

1993, 北海道南西沖地震

北海道医療大学により、奥尻島の津波犠牲者に対する即時義歯治療が提供された

1994, 中華航空140便墜落事故

犠牲者 264名

1995, 阪神淡路大震災

歯科大学、歯科医師会、病院歯科が連携して2か月半に渡って応急歯科診療を提供した

2004, 新潟県中越地震

全犠牲者 68名のうち、災害関連死52名、うち肺炎8名 (15%)

2007, 新潟県中越沖地震

犠牲者15名

2011, 東日本大震災

全犠牲者2万名以上のうち災害関連死3089名  
直後の避難者47万人

身元確認

応急歯科  
診療

身元確認

応急歯科  
診療

口腔ケア

応急歯科  
診療

口腔ケア

応急歯科  
診療

口腔ケア

応急歯科  
診療

身元確認

# 時間的経過と歯科保健医療支援活動

短期的歯科保健医療支援活動

長期的歯科保健医療支援活動

フェイズ1

フェイズ2

フェイズ3

口腔顎顔面外傷への対応  
応急処置 後方支援病院への搬送

応急歯科診療  
定点診療: 歯科医療救護所  
巡回診療: 避難所巡回診療

災害関連疾病の予防

病院・高齢者介護施設・福祉避難所巡回口腔ケア

地域歯科保健活動

避難所巡回口腔ケア

訪問口腔ケア検診活動

在宅巡回口腔ケア

仮設住宅 居宅

口腔衛生指導／口腔衛生啓発活動

介護保険施設

警察歯科医会活動  
歯科的身元確認 個人識別資料の採取と照合

田中 彰: 日本歯科医師会雑誌62(4), 2009より改変

## 災害時の口腔ケアの位置づけ

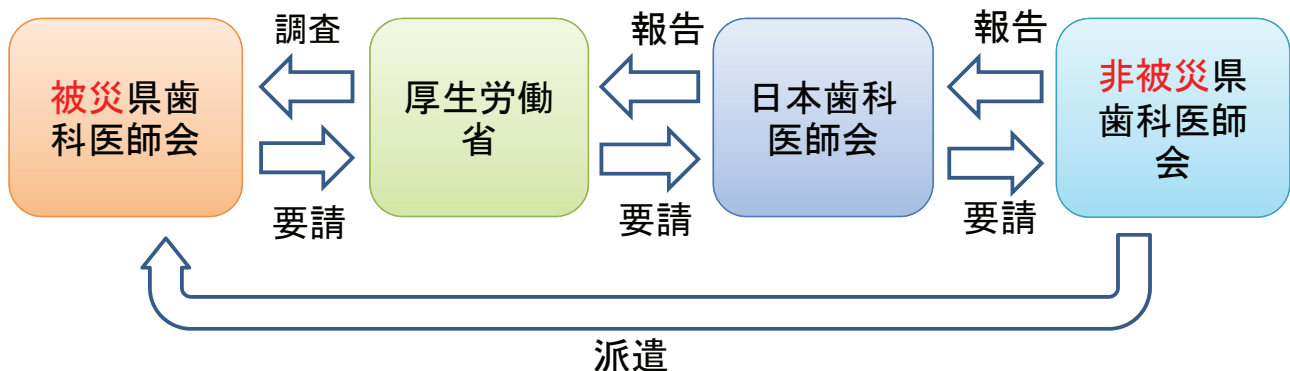
時期	対象	場所	問題点	内容	対応者
急性期	一般	病院	易感染性	徹底した個別口腔ケア	看護師、 歯科衛生士、 歯科医師
急性期 ～慢性期	要援護者	高齢者／障 害者施設	介護力ダウ ン、ライフ ラインダウン	個別の口腔 ケア・指導、 口腔ケア用 品の提供	歯科衛生士、 歯科医師
		在宅	介護力ダウ ン、ライフ ラインダウン、 孤立		
慢性期～	一般	避難所	洗面所など 環境の不備	口腔ケアの 啓蒙、口腔 ケア用品の 提供	歯科衛生士、 歯科医師

「歯科医院の防災対策ガイドブック」医歯薬出版

# 歯科救護の対象

	対象	内容	連携
犠牲者	犠牲者	個人識別への協力	警察、監察医など
健康問題を抱える人	痛みのある人 通院中 義歯	医療活動	DMAT、日赤など
健康問題のない人	特に重要なのは要援護者 高齢者(摂食・嚥下障害) 有病者(糖尿病) 小児	保健活動	自治体保健師ら

## 東日本大震災後の歯科の対応



3カ月間の派遣者数	実人数		のべ人数	
歯科医師- 歯科医師会	93	165	532	1030
歯科医師- 大学	72		498	
歯科衛生士- 歯科衛生士会	54	72	335	459
歯科衛生士- 大学	18		124	

# 災害と乳幼児および小児の歯に関する文献一覧

1. 阪神・淡路大震災の前後における乳幼児の生活習慣の変化について(会議録), 岡崎好秀, 他, 小児歯科学雑誌, 34(2), 534, 1996
2. 阪神大震災が子ども達に与えた影響(会議録), 河見真紀, 他, 小児歯科学雑誌, 34(2), 347, 1996
3. 口腔検診結果からみる震災の影響(第一報) 小学校3年生児童での一考察, 森田朋美, 兵庫歯科学院雑誌20(1), 22-27, 1997
4. 中越地震被災地域における地震前後の小・中学校歯科健康診断結果の比較, 小松崎明, 口腔衛生学会雑誌, 58(5), 498-506  
2008
5. 新潟県中越大震災後の子どもの心のケアに対する小児科医の役割に関する検討, 五十嵐幸絵, ら, 小児科臨床, 62(2) 321-328,  
2009
6. 児童生徒のための被災時の歯・口の健康対応マニュアル, 社団法人日本学校歯科医会, 2009
7. 東日本大震災時における小児の歯磨きや間食状況の実態 宮城県沿岸部歯科医院でのアンケート調査から(会議録), 小久江由佳子, ら, 小児歯科学雑誌, 50(2), 326, 2012
8. 宮城県における東日本大震災の学校歯科保健への影響とその対策 平成23年度学校歯科保健に関するアンケート調査より(解説), 山形光孝, 日本学校歯科医会会誌, 112, 32-40, 2012
9. 東日本大震災に伴う被災地児童の学校歯科検診調査報告(会議録), 黒田直寿ら, 岩手県歯科医師会地域歯科保健委員会, みちのく歯学会雑誌, 42-431-2, 46-47, 2012
10. 震災影響? 幼児増 沿岸南部で開業医が多数被災/岩手, 毎日新聞岩手地方版, 2013年8月28日
11. 東日本大震災における小児歯科対応について(会議録), 新垣真紀子ら, 小児歯科学雑誌:51(1), 121-122, 2013
12. 東日本大震災が小児の成長に及ぼす影響に関する実態調査(原著論文), 佐藤亨至ら, 日本成長学会雑誌, 19(1), 35-43, 2013
13. 宮城県の歯科保健/歯科保健推進協議会  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/kyougikai.html>

# 東日本大震災後の乳幼児および小児に対する歯科保健活動(例)

子育て支援センターにおける歯みがき指導

歯科衛生士(右)とともに仕上げ磨きをしている母親。左で見守っているのは保健師



「健康をつくる町民の集い」における、歯科衛生士さんになってみよう！コーナー。

子育て支援センターにおける、母親を対象とした歯科保健勉強会。



保育所における歯科保健指導。  
クイズに手を挙げているところ。

協力：  
女川町保健センター  
女川地区仮設歯科診療所

# 歯科の「共通」アセスメント

「災害時公衆衛生歯科機能について考える会」提言，平成25年10月

目的：継続的な共通アセスメントにより、必要な時に必要な所に必要とされている支援を届ける！

## \* フェーズⅠ

レベル1(全体レベル) 他職種主導

## \* フェーズⅡ～継続的に

レベル2(集団レベル) 自治体主導(多職種、歯科職も)

## \* フェーズⅢ～継続的に

レベル3(個人レベル) 現場(歯科医師会・歯科衛生士会)主導

## 歯科口腔ニーズアセスメントのレベル

公衆衛生職  
共通の眼

レベル1ー全体

避難所等  
アセスメント票

歯科ニーズ

痛み  
不調

公衆衛生  
歯科職の眼

レベル2ー集団

歯科版  
避難所等(マス)  
アセスメント票

<関連環境>

人数構成  
水・洗口場  
歯科医療確保  
口腔ケア用具

<歯科ニーズ>

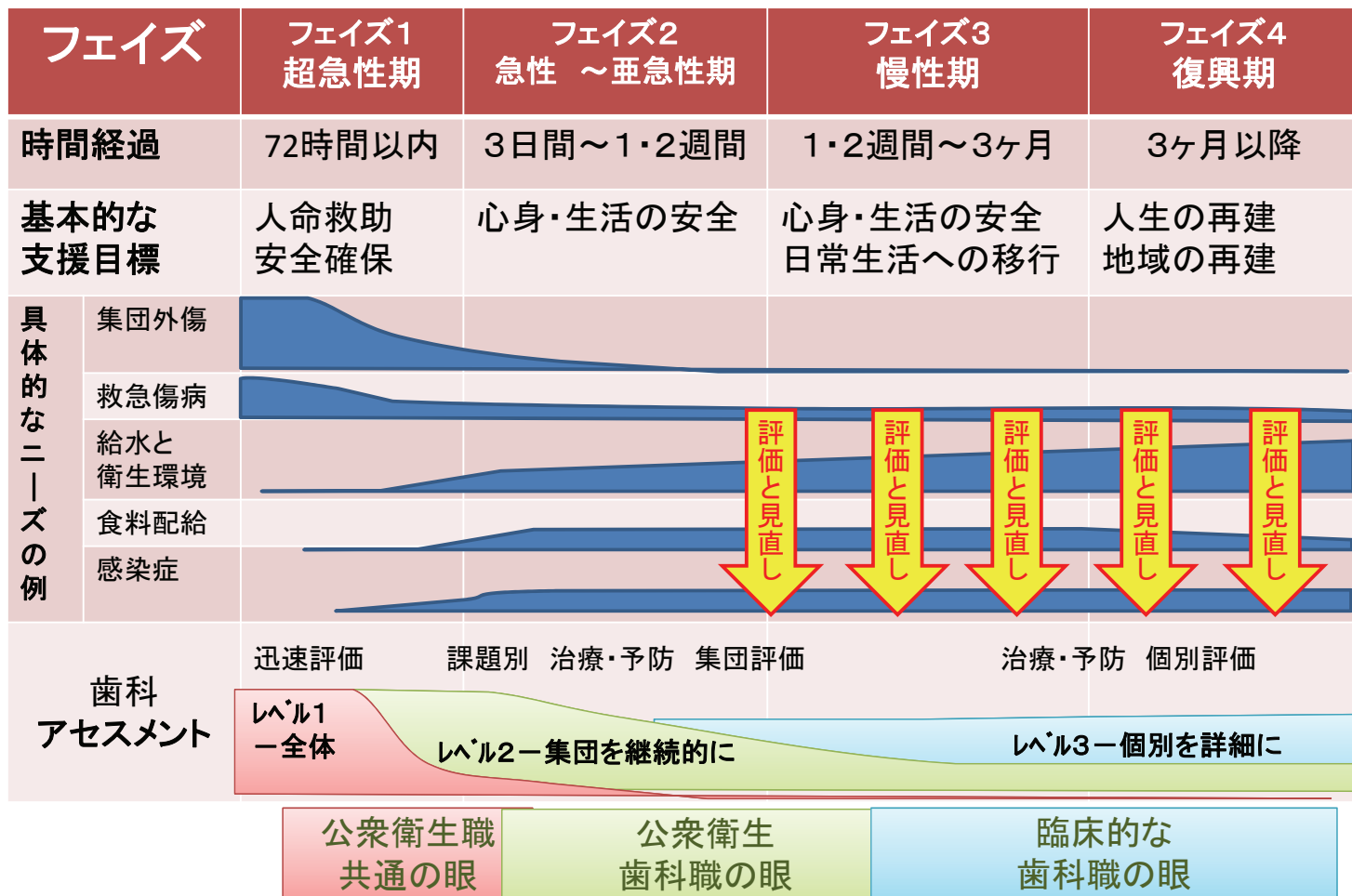
- ・ 食物摂取問題
- ・ 義歯問題
- ・ 口腔衛生問題

臨床的な  
歯科職の眼

レベル3ー個人

歯科版  
個別アセスメント票

全身状態  
口腔内症状  
食物摂取  
歯口清掃  
義歯  
その他




「災害時公衆衛生歯科機能について考える会」提言, 平成25年10月

## 避難所 アセスメント票(例)

被災者の健康ニーズを概要を把握する  
システム

細かい基準なし

**レベル1  
(全体レベル)  
フェーズ1**

様式 10 避難所アセスメントシート 

調査日 [ ] 調査者 [ ]

市町村名 [ ] 避難所の名称 [ ]

避難所リーダーの氏名/連絡先 [ ]

医療提供 診療所 あり( )・なし 巡回診療 あり( )・なし

項目	状態	概要
全体人数	約 人	受診人数 人 発熱(38度以上) 人・咳 人・嘔吐 人・下痢 人
水・水道	◎・○・△・×	
食事	◎・○・△・×	市町村への食事要望量 人分
電気	◎・○・△・×	
ガス	◎・○・△・×	
毛布	◎・○・△・×	
暖房	◎・○・△・×	
衛生状態/トイレ	◎・○・△・×	
既活動中の医療救護チーム等の名称		
小児科ニーズ	多・中・少・無	
精神科ニーズ	多・中・少・無	
産婦人科ニーズ	多・中・少・無	妊婦情報 ( ヶ月 人)( ヶ月 人) ( ヶ月 人)( ヶ月 人)
歯科ニーズ	多・中・少・無	痛みあり 痛み以外(入れ歯失くした等)
その他		



# 歯科版避難所等 アセスメント票

「災害時公衆衛生歯科機能  
について考える会」提案  
避難所等歯科口腔保健  
アセスメント票  
(標準化レベル2)

レベル2  
(集団レベル)  
フェーズ2以降継続

No. \_\_\_\_\_

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版

※事前把握項目	避難所等名 (施設名)	市町村名	
	避難者数 人 ( 月 日現在)	避難所 責任者氏名	
	評価年月日 西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)	
	評価時在所 避難者数 人 (AM/PM 時現在)	情報収集法	※実施した方法をすべてチェック <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名: ) <input type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り ( 人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	評価者氏名 氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ( )		
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特にお口衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明	
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・―)	a 歯磨き等の水 1 充足, 2 不足 (約 人 or%), 3 不明 * (具体的に: ) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足 (約 人 or%), 3 不明 * (具体的に: )	
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・―)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 養歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 養歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 ( ) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・―)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 養歯清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異状	(◎・○・△・×・―)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (養歯粉失・咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない * (具体的に: )	
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・―)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (理由), 1-② あり (不理由) 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に: _____		

※ 書ききれない情報は、情報や写真等添付し、確認事項欄に記入してください。  
※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、―不明  
標準化 Ver2.0  
(\*\*県\*\*\*県歯科医師会)

## 大規模災害時の 歯科医師会行動計画

改訂版

平成 25 年 6 月

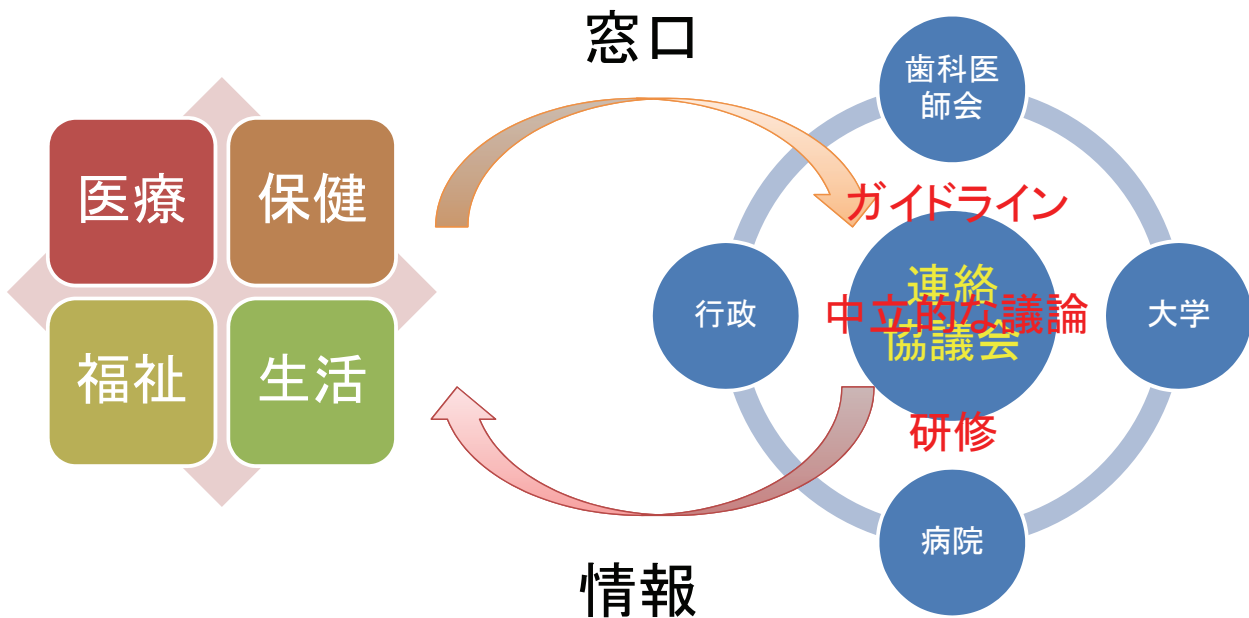
レベル3  
(個人レベル)  
フェーズ3以降継続

公益社団法人 日本歯科医師会  
災害時対策・警察歯科総合検討会議

## 災害支援活動 歯科衛生士実践マニュアル

公益社団法人日本歯科衛生士会

# 災害時歯科保健医療連絡協議会



1. 行政・他業種などへの対外的な窓口
2. 各団体との連携、活動調整
3. 情報センターとしての機能
4. 書式や方法論の統一、標準化
5. 人材育成、教育のための研修会
6. 災害対応研修会修了者の認定
7. レベルや地域ごとの登録、リストの作成と管理
8. 上位からのマッチングによる派遣要請・調整
9. 上記をふまえた災害時対応マニュアルの改訂

**避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版**

※事前把握項目

避難所等の名称		市町村名	
避難者等の人数	人 ( 月 日現在)	避難所等の責任者氏名	
評価年月日	西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)	
評価時在所避難者等の人数	人 (AM/PM 時現在)	情報収集法	※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名: ) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り ( 人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ( )
評価者氏名 職種	氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ( )		

※事前把握項目

項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明	
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: ) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に: )	
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 ( ) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない * (具体的に: )	
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (定期的), 1-② あり (不定期) 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に:		

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 標準 Ver2.0  
 ※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、ー: 不明  
 (\*\*県・\*\*県歯科医師会)

## 避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル2）について

この標準アセスメント票は、避難生活者の健康維持に影響する歯科口腔保健問題を概括的に把握し、現地災害対策本部（災害公衆衛生活動の歯科部門）に伝達して支援調整に役立てるための、歯科関係団体の共有する全国統一された標準版の情報収集ツールとして、多くの組織・団体の理解のもとで作成されたものです。

歯科や保健医療の専門職だけでなく、避難所の運営スタッフや支援者が用いて、本票の確認項目をふまえて評価することで、見逃しがちな歯科口腔保健の課題が浮かび上がるようになっていきます。

### 本票を用いた情報収集（アセスメント）にあたって注意すべき点

#### ◆ 事前の心構え

- 1 対象となる避難所等の状況を十分に配慮して手短かに情報収集を実施すること。特に、避難者同士が助けあって運営している避難所の特性を踏まえて、余計な負担をかけないように臨むこと。
- 2 情報収集は、避難生活の長期化が見込まれる場合に行い、その開始時期は、基本的に超急性期・急性期の終了が見込まれる時点からとすること。
- 3 現地災害対策本部等からの指示調整に従い、避難所の事前情報を得た上で、本票を用いた情報収集を行うこと。

#### ◆ 実施の手順

- 1 避難所の責任者（もしくは健康管理担当者等）に身分証などで自己紹介した上で、その目的（支援活動に先んずる必要性の把握）を告げ、責任者の同意・協力を得て実施すること。
- 2 情報収集は、各避難所等の状況に見合った方法（聞き取り・観察など）を選び、避難者及び運営スタッフに負担を与えないよう、短時間で概括的に把握して記載すること。
- 3 最後に、責任者（もしくは健康管理担当者等）に、情報収集の終了と結果概要を簡略に報告し（可能なら本票をコピーさせてもらい、写しを手渡ししながら再確認）し、この結果を必要な支援につなげる旨と継続的に情報収集に来ることの理解を得ておく。必要に応じて、避難所向けの歯科口腔保健パンフレット・リーフレット等を配布し、情報提供すること。
- 4 本票の不明な情報は「記載もれ」と区別するため、必ず「不明」等と明記して記載し、現地災害対策本部等の歯科コーディネーター（保健所、市町村または歯科医師会）に届けること。

（注） 本アセスメント票の「避難所等」とは、被災下で一時的に宿泊・食事等の生活をする場所全般を想定しています。したがって、高齢者・障害者・病弱者等の通常の生活にも困難な要援護者等のための福祉避難所、更に広義には被災下での福祉施設から自宅等も含んだ一時的な生活の場所が該当します。

本アセスメント票の記入の仕方がわからない場合や緊急時の用件については、現地災害対策本部等の歯科コーディネーターにご連絡ください。 <連絡先> 所属：  
氏名：  
電話番号：



# 全員共通

## 《避難所等歯科標準アセスの説明》

- 本部に集合
- 名札の着用
  
- 本部の指示で、各チーム編成（結果を本部白板に記載）
- アセス票・持参物品の確認、交通手段等の確認、天候の確認
- 担当部署へ出発



## 《担当部署》

避難所（一般）

病院

福祉避難所  
高齢者・障がい者・福祉施設等

各アクションカード参照



## 《帰着後》

- チーム内での共有情報内容の再確認（ポイント記録）
  - ・避難所等の状況共有
  - ・実施上の課題整理  
（人員物品の過不足、アクセス、その他トラブル等情報）
- 代表者が本部に報告（メモ提出）
- 標準アセス票の提出と小計表への記載（PCへの入力）

# 避難所（一般）

## 《出発時チームミーティング》

- チーム構成員と役割分担（班長/記録係等の選定）の確認
- 現地状況、担当部署等の確認
- 避難所の事前情報を確認、アセス票の必要事項の事前記載
- 道路状況・交通手段・天候予報等の確認

## 《避難所到着と任務実施》

- 避難所責任者(担当者)に挨拶、「避難所等責任者へ」手渡説明
- 基本状況等の確認・観察  
(ライフライン、衛生状態、食事支援、医療支援、近隣医療機関など)
- 可能な情報収集方法でアセス票（レベル2）を埋める
- その他の情報はメモとして記載

## 《避難者直接の聞き取り等の注意点》

- 挨拶、聞き取り目的と個人情報保護の確認
- 環境観察や行動観察も忘れない
- 必要時は可能な支援・応急対応を行うが、短時間に留め、状況によりチーム分けで本隊チームは予定通りにアセスを進める

## 《異常発生時》

- 避難所責任者(担当者)に報告
- 本部に電話連絡
- 連絡つかない場合、チームの判断で安全第一の臨時応急の処置をとる

## 《避難所責任者への報告と帰着》

- 避難所責任者に結果報告（記録複写の提出）
- チーム員点検の後、次の避難所・居宅・施設又は帰着へ

（帰着後は全員共通アクションカード参照）

# 高齢者・障がい者など施設

\* 避難所との違いは下線部です。

## 《出発時チームミーティング》

- チーム構成員と役割分担（班長/記録係等の選定）の確認
- 現地状況、担当部署等の確認、連携病院/診療所の現状確認
- 施設の事前情報を確認、アセス票の必要事項の事前記載
- 道路状況・交通手段・天候予報等の確認

## 《避難所到着と任務実施》

- 施設責任者(担当者)に挨拶、「避難所等責任者へ」の手渡
- 基本状況等の確認・観察  
(ライフライン、衛生状態、食事支援、医療支援、近隣医療機関など)
- 可能な情報収集方法でアセス票(レベル2)を埋める
- その他の情報はメモとして記載  
(災害前の入所者数と災害後の入所者数の確認、災害後の入所者の動向の予想の確認、職員の被災と出務状況の確認)

## 《避難者直接の聞き取り等の注意点》

- 挨拶、聞き取り目的と個人情報保護の確認
- 環境観察や行動観察も忘れない
- 必要時は可能な支援・応急対応を行うが、短時間に留め、状況によりチーム分けて本隊チームは予定通りにアセスを進める

## 《異常発生時》

- 施設責任者(担当者)に報告
- 本部に電話連絡
- 連絡つかない場合、チームの判断で安全第一の臨時応急の処置をとる

## 《避難所責任者への報告と帰着》

- 避難所責任者に結果報告(記録複写の提出)
- チーム員点検の後、次の避難所・居宅・施設又は帰着へ

(帰着後は全員共通アクションカード参照)